

貢川イレブン

貢川サッカー少の活躍は下記サイトをご覧ください
<http://www.print-man.jp/~kugawa-sc>

kgw-staff@print-man.jp

第16号

発行者 貢川サッカースポーツ少年団

部長	相川 英人
後援会長	岡田 勇治
代表	伊東 祐三
監督	興石 勝彦

印刷所：(有)樋口印刷
<http://print-man.jp>



平成19年8月3日
緑が丘球技場にて

貢川サッカースポーツ少年団

監督 興石 勝彦

貢川サッカーの指導者となつて、はや十二年が過ぎました。現在、団員は三十数名、週三回の練習を行っています。この十二年の間に時代の変化を少しづつ感じています。子供達をとりまく環境はだいぶ、様変わりしました。外で大勢で遊ぶ機会が減り、TV・ゲームなど室内で、しかも少人数での遊びが多くなったと思います。

また、少年サッカーにおいても技術だけを専門に指導するクラブチームが増えました。そんな中で、地域に根ざしたスポーツ少年団の指導者として何を子供達にしてあげられるのか。指導者同士で何回も話し合いをしたことを覚えています。

貢川スタッフの共有する考えがいくつかあります。まず、子供達にとつてサッカーは、「楽しく」「ハードワーク」ではなく、「きびしさと楽しさ」を持ち合わせるべきことが絶対に必要なのです。

また試合である以上、「勝ち」と「負け」が存在します。サッカーは誰もが勝ち、そして誰もが負けるチームスポーツです。勝てば、誰もがその勝利を「自分のもの」として家に持ち帰り、負ければ、それはみんなで分け合えばよいのです。大人が「負け」を受け入れることができたなら、子供達も自然にそれを学ぶことができるでしょう。そして、一番大切な事は、友達と一緒にプレーすることです。成長過程とか運動神経、センスなどは個々に

よって差があります。でもその子供たちが、「友達同士」でプレーし、お互いを尊重し、同じ目的のためにみんなで協力して共に達成感を得る。そういった経験をこの年代にたくさんさせてあげたいと思います。

プレーしている子供達にどう接したらよいのか？悩んでいるご父兄も多いかと思いますが、

- 一 試合や練習を見に行つてあげましょう。
- 二 子供はそれを望んでいません。試合ではすべての子供を応援してあげましょう。
- 三 自分の子供だけではいけません。調子の良い時だけでなく、調子の悪い時も勇気づけてあげましょう。批判してはいけません。
- 四 チームリーダーを尊重してあげましょう。
- 五 彼らの判断に圧力をかけないようにしましょう。
- 六 レフリーはインストラクターとみなしましょう。
- 七 レフリーの判定を批判してはいけません。
- 八 子供が参加することを刺激し勇気づけてあげましょう。
- 九 プレッシャーにならないように。結果だけが聞くことのないように。
- 十 サッカーにふさわしい、節度ある用具を準備してあげてください。
- 十一 大げさになつてはいけません。
- 十二 団の仕事は尊重してください。
- 十三 積極的に父兄のミーティングを持ち、どのような態度で臨むべきか話し合いをしましょう。
- 十四 忘れないで下さい。サッカーをするのは子供達です。
- 十五 あなたではありません。
- 十六 子供達と貴重な時間を共有してほしいと思います。

「サッカーを通して得たもの」

平成十九年度後援会長

花輪 かおり

息子が貢川サッカースポーツ少年団に入団したのは四年の六月でした。

当時、週二回の柔道の稽古に加え週末にはレスリングに通っていたため、サッカーを始めることになるとは思ってもみませんでした。

ある日突然サッカー部の見学に行くと言った時も遊びの延長だろうと放つておいたのですが、数日後には遊びではなく入団が現実となったわけ

合ばかり考えず受け入れようと心掛けました。ただ一つ残念だったことは、週末の試合等により両立が出来ず、レスリングに行けなくなつてしまったことです。五年生になるとAチームに属するため、親も子どもだんだんと忙しくなつてきました。とかく観戦中は熱くなりがちですが、頑張っている子供達の邪魔にならないようにと声掛けにも気をつけました。



実は、私自身サッカー部は保護者が大変と強く思っていました。ましてや柔道部には創部以来家族で大変お世話になつており居心地良い環境だったのでなおさら抵抗感があったのかも知れません。結局は本人の強い気持ちに圧倒されてしまったわけですが、

入部して三ヶ月後に四年生以下のスコレィカップがありました。

当時は気楽な気持ちで楽しく観戦したことを覚えています。

その中で本人の強い気持ちが変わらないのなら、親の都

新入団生募集中

貢川サッカースポーツ少年団は、甲府市スポーツ少年団の理念に基づき、貢川体育協会の傘下のもと、活発な活動を行っています。

練習日:毎週水曜日・金曜日
午後5時40分～7時
毎週土曜日 午前10時～12時

団費:4年生以上…2,500円/月
3年生…2,000円/月
1・2年生…1,500円/月

●連絡先
後援会長 岡田 勇治 226-5424
監督 興石 勝彦 226-4171

入団説明会開催のお知らせ

貢川サッカースポーツ少年団では、下記の通り入団説明会を開催します。

新しく入団ご希望の方、及び在団生とその父兄の方々に、平成20年度の指導方針を前期、中期、後期に分けて取得する技術や戦術など、各学年別に説明をします。

また、平成20年度の予定なども併せて説明をします。新規入団希望の方もこの機会に、是非入団の手続きをお願いします。

とき 4月13日(日) 午前10時30分～
ところ 貢川悠遊館 入団希望者及びその父兄、在団父兄
(旧富東公園)

貢川サッカースポーツ少年団の活躍は、インターネットで見ることが出来ます
<http://www.print-man.jp/~kugawa-sc>
Email kgw-staff@print-man.jp

やがて六年生になり、それまであまり自己主張をすることがなかった子が多かつたせいか、監督達から大丈夫かなと心配されていたことを後から聞かされました。人は努力なしで急に変われるものはありません。一回一回の練習を無駄にせず積極的に挑戦しようと努力を重ねるうちに、少しずつ成長を感じていただけただけなのではないかと思えます。

サッカーを通していろいろな事を経験する中で、子供達は最後まで諦めず頑張ることを覚えました。それは指導者の方々による一人一人のこと

を考慮してくださった上での指導や励ましをいただいたことや、同じチームメイトとして互いに声をかけ励まし合つてきたことが大きかったのだと改めて感じております。



H19.12.16市長旗争奪サッカー大会 第3位

先日、サッカー部の卒団式で皆さんに卒団を祝つていただきました。卒団生からはサッカーを通して多くの事を学びさらに頑張つていこうという意欲が伝わりました。また指導者の方々や後援者の皆さんからは労いの言葉をかけていただきました。力不足で頼りない会長でしたが、

一年間頑張つてくれたことを感謝しています。後援会で子供達と共に過ごした出来事は全てが思い出し出として心に残るものと確信しております。

皆さん、本当にありがとうございました。

団員の声を

貢川サッカーの思い出

富竹中一年 福島 大志朗

ぼくは二年生のころにサッカー部に入りました。

入った理由は中村大地君にさそわれたからです。

最初はきんちようして逆のゴールに攻めちやいました。

だんだんせんばいや監督やコーチにサッカーのことを教えてもらってなれてきました。

三年生の一月にトレセンに選ばれて、すごくうれしい気持ちになりました。

そして四年生の九月にスコレィカップという大会がありました。

ぼくは、絶対優勝するぞという気持ちがいっぱいありました。

まず一戦目は、けつこう強い甘利というチームでぼくのポジションはセンターバックでした。

絶対守ってやるぞと心がけました。

バックでも点を入れてやるぞと心がけました。

ぼくは、コーナークICKの時に上がりました。

流星君からのボールを頭で合わせ、ゴールを決めることができ、その時はスカッとしました。すごく気持ちよかったです。

そして準決勝まで全勝しました。そして決勝戦です。

また、二回戦の甘利です。その時の試合は二一二で同点でした。

次は絶対勝ってやるぞと気持ち切り替えました。

そして先制点をとりました。前半が終わりました。また後半もこの調子でやったら勝てると思っ

た。二回戦の甘利です。その時の試合は二一二で同点でした。次は絶対勝ってやるぞと気持ちを切り替えました。

そして先制点をとりました。前半が終わりました。また後半もこの調子でやったら勝てると思っ

たら同点にされちやいました。ぼくは思いきってコーナークICKで上がりました。そしてボールがきて思いっきり打ったらキーパーにさわって入りました。

その時ぼくはちようしにのって側転しちやいました。ホイッスルがなって試合が終わりました。

ぼくは泣いちゃいました。すごくうれしかったです。

次の思い出は、六年生の時のYBS大会です。

一日目はGPと千塚に二敗してしまいました。

三位パートで優勝してやるぞと心がけました。

まず伊勢と青桐でした。二戦とも勝ち進みました。

次は葦崎東です。コーナークICKのチャンスで流星君が蹴つたら

カーブしてサイドネットに入りました。あとはしつかり守るだけです。そしてやつとホイッスルがなり

ました。

次は決勝です。春に県で一位になった羽黒です。少しぼくはビビってました。でもやるべきことはやろうと思いました。

まず前半は〇点におさえるぞと気持ちを入れました。

そして前後半のいきりましました。延長もあぶない場面がいくつかあったけどしのぎきりました。結果PKで負けましたがとても印象にのこる試合でした。

六年間サッカーを続けてきていろんな経験ができました。

監督、コーチ、父兄の方々にはとても感謝しています。

サッカーが大好きだから中学にいつてもがんばります。

そして前後半のいきりましました。延長もあぶない場面がいくつかあったけどしのぎきりました。結果PKで負けましたがとても印象にのこる試合でした。

六年間サッカーを続けてきていろんな経験ができました。

監督、コーチ、父兄の方々にはとても感謝しています。

サッカーが大好きだから中学にいつてもがんばります。

今年一番がんばりたいことはリフティングです。

今の最高のきろくは二十四回なので、五十回まではがんばりたいです。

二番目に試合でドリブルをしてシュートしたいです。それと、三人ぐらいはかわりたいです。

あとハットトリックをしたいです。

六年生なのでみんなで力を合わせて優勝したいです。試合で活躍したいと思います。

いろんなポジションができるようになりたいと思います。

あと、低学年をまとめていきたいです。最後の目標は楽しいサッカーをしたいです。

ぼくの今年の目標は三つあります。

一つ目はリフティングです。去年はあまり多くつけなかつたけど、今年は何回も目ざしたいです。

二つ目は、ドリブルです。ぼくは、ドリブルがとくいではありません。だから今年、去年よりたくさん練習をして上の学年の人や、同じ学年の友達をかわすくらい自信をつけたいです。

三つ目はシュートのことです。去年は、公式戦と練習試合で七点くらいしか取っていないので今年、もっと、い力のあるシュートを打てるように練習し去年よりもつとたくさんゴールを決めたいです。

サッカー今年の目標

五年 守谷 蓮

一つ目はリフティングです。去年はあまり多くつけなかつたけど、今年は何回も目ざしたいです。

二つ目は、ドリブルです。ぼくは、ドリブルがとくいではありません。だから今年、去年よりたくさん練習をして上の学年の人や、同じ学年の友達をかわすくらい自信をつけたいです。

三つ目はシュートのことです。去年は、公式戦と練習試合で七点くらいしか取っていないので今年、もっと、い力のあるシュートを打てるように練習し去年よりもつとたくさんゴールを決めたいです。

サッカー今年の目標

二年 なかえ たける

ぼくのことしの、もくひようはリフティングを十かいはできるようになりたいです。りゆうは、まだ三かいはできないからです。ことしもサッカーをがんばりたいです。

ことしのもくひよう

編集後記

イレブン新聞は平成四年に第二号を発行しました。それから毎春に一年間の締めくくりと新たな活動準備のために発行を繰り返してきました。

当時から団員の減少など、危惧した記事がありますが、こうして今まで活動して来れたのは地域の皆様方のお陰と衷心より感謝申し上げます。

今後とも貢川サッカー少年をよろしくお願いします。

上越教育大学 赤井 大悟

切さを教えてくださいました。

現在、私は大学でアカペラサークル、合唱団に所属しています。

形は違いますが、アカペラも合唱もチームプレーです。大学までずっとチームプレーの部活動をしているのは、きつとスポ少で仲間の大切さを学んだ影響だと思えます。

仲間が協力し、相手のことを考える。この他人を思いやる気持ちはサッカーに限らず、何事にも言えることです。楽しみながらプレーするのはもちろんですが、是非貢川の皆さんにも協力の心を大切に、相手のことを考えながらプレーして欲しいです。

サッカーを通して私は多くのことを学びました。皆も多くのことを学び、吸収していつてくださいます！

頑張れ、貢川イレブン!!

成長そしてこれから

指導者 石原 大三

日頃、子供達は、努力しています。

サッカーというスポーツを通して、いろいろな事を学んでいます。

サッカーは団体スポーツですから、時にはケンカをしたり励ましあったり、ライバル心を持つたり一緒に泣いたり笑ったりと様々な経験を友達と共にしていきます。

それは、とても大切な経験ではないかと思えます。

決して家庭の中だけでは、味わう事のない、学校とも少し違った経験が出来る場所だと思っています。

私は、貢川サッカー少年団の指導者として三年目を迎えようとしています。

が、先ずは「あいさつ」が基本だと思いい取り組んできました。

時間はかかりましたが、最近では、そこそこ出来る様になってきたかなって所です。

最後に、指導するに当たって私の考えは、子供達には、

また、一回戦の甘利です。その時の試合は二一二で同点でした。次は絶対勝ってやるぞと気持ちを切り替えました。

そして先制点をとりました。前半が終わりました。また後半もこの調子でやったら勝てると思っ

たら同点にされちやいました。ぼくは思いきってコーナークICKで上がりました。そしてボールがきて思いっきり打ったらキーパーにさわって入りました。

その時ぼくはちようしにのって側転しちやいました。ホイッスルがなって試合が終わりました。

ぼくは泣いちゃいました。すごくうれしかったです。

次の思い出は、六年生の時のYBS大会です。

一日目はGPと千塚に二敗してしまいました。

三位パートで優勝してやるぞと心がけました。

まず伊勢と青桐でした。二戦とも勝ち進みました。

次は葦崎東です。コーナークICKのチャンスで流星君が蹴つたら

カーブしてサイドネットに入りました。あとはしつかり守るだけです。そしてやつとホイッスルがなり

ました。

次は決勝です。春に県で一位になった羽黒です。少しぼくはビビってました。でもやるべきことはやろうと思いました。

まず前半は〇点におさえるぞと気持ちを入れました。

個性があるということ。個性とは、個々の資質です。それを大切にするには個々の特性を知ることです。

態度や成長、家庭環境などが一人一人違うので、その子の努力と挑戦、協調性を見極め

ほんの少しの成長も見逃さず見守り、目を配って、失敗した事を叱るのではなく挑戦した事を誉めて伸ばしてあげたいと常に指導を心がけています。

私も子供達から教わる事も多く一緒に成長いくことが喜びです。

諸先輩の皆様には、温かいご指導を頂き有り難うございます。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

私が貢川サッカー少年団の指導者として三年目を迎えるにあたり、先ずは「あいさつ」が基本だと思いい取り組んできました。

時間はかかりましたが、最近では、そこそこ出来る様になってきたかなって所です。

最後に、指導するに当たって私の考えは、子供達には、

また、一回戦の甘利です。その時の試合は二一二で同点でした。次は絶対勝ってやるぞと気持ちを切り替えました。

そして先制点をとりました。前半が終わりました。また後半もこの調子でやったら勝てると思っ

たら同点にされちやいました。ぼくは思いきってコーナークICKで上がりました。そしてボールがきて思いっきり打ったらキーパーにさわって入りました。

その時ぼくはちようしにのって側転しちやいました。ホイッスルがなって試合が終わりました。

ぼくは泣いちゃいました。すごくうれしかったです。

次の思い出は、六年生の時のYBS大会です。

一日目はGPと千塚に二敗してしまいました。

三位パートで優勝してやるぞと心がけました。

まず伊勢と青桐でした。二戦とも勝ち進みました。

次は葦崎東です。コーナークICKのチャンスで流星君が蹴つたら



貢川サッカー少年団と私

上越教育大学 赤井 大悟

切さを教えてくださいました。

現在、私は大学でアカペラサークル、合唱団に所属しています。

形は違いますが、アカペラも合唱もチームプレーです。大学までずっとチームプレーの部活動をしているのは、きつとスポ少で仲間の大切さを学んだ影響だと思えます。

仲間が協力し、相手のことを考える。この他人を思いやる気持ちはサッカーに限らず、何事にも言えることです。楽しみながらプレーするのはもちろんですが、是非貢川の皆さんにも協力の心を大切に、相手のことを考えながらプレーして欲しいです。

サッカーを通して私は多くのことを学びました。皆も多くのことを学び、吸収していつてくださいます！

頑張れ、貢川イレブン!!

私が貢川サッカー少年団の指導者として三年目を迎えるにあたり、先ずは「あいさつ」が基本だと思いい取り組んできました。

時間はかかりましたが、最近では、そこそこ出来る様になってきたかなって所です。

最後に、指導するに当たって私の考えは、子供達には、

また、一回戦の甘利です。その時の試合は二一二で同点でした。次は絶対勝ってやるぞと気持ちを切り替えました。

そして先制点をとりました。前半が終わりました。また後半もこの調子でやったら勝てると思っ

たら同点にされちやいました。ぼくは思いきってコーナークICKで上がりました。そしてボールがきて思いっきり打ったらキーパーにさわって入りました。

その時ぼくはちようしにのって側転しちやいました。ホイッスルがなって試合が終わりました。

ぼくは泣いちゃいました。すごくうれしかったです。

次の思い出は、六年生の時のYBS大会です。

一日目はGPと千塚に二敗してしまいました。

三位パートで優勝してやるぞと心がけました。

まず伊勢と青桐でした。二戦とも勝ち進みました。

